

## 宮崎市立田野中学校

事業の実施時期：補助を受けた日から令和6年3月1日

### 活動の概要

生徒会の活動として、これまで続けているペットボトルキャップ回収活動の継続、環境美化週間を設定し、4Rの周知、節電節水の徹底の呼びかけなどの活動を行った。1年生の総合的な学習の時間において、田野で働いている方々から、環境についてのテーマも含めて話を聞く機会を設定した。また、環境への意識付けのためのポスター標語作成も行った。

SDGsの視点：「11 住み続けられるまちづくりを」、「12 つくる責任 つかう責任」

### 1 学校の概要

本校は、宮崎市の南西部に位置し、鰐塚山や荒平山に囲まれた盆地にある自然豊かな町の学校である。基幹産業は、大根、たばこ、きゅうりを中心とする農業で特に日本一の生産量を誇る漬物用の干し大根が立ち並ぶ姿は、日本農業遺産に登録され、冬の風物詩として有名である。また、高速道路のインターチェンジ周辺には工業団地があり、最近では、新しい住宅地も作られている。本年度は、全校生徒328名が在籍しており、5年前から生徒数も増え続け、活気ある毎日の中で、素直に落ち着いて学校生活を送っている。学校の目標を「自立・貢献し、学びあい、支え合う生徒の育成」とし、「志揃合輝（志を立て 心を揃え 力を合わせ 輝かせる）」をスローガンに生徒、職員、保護者、地域が丸となって教育活動に取り組んでいる。

### 2 活動のねらい

生徒会活動や学年での総合的な学習の時間を活用し、普段の生活で実践できる4Rや持続可能な環境づくりについて学習し、意識を高める。

### 3 活動内容

#### (1) 生徒会の活動

- ① 環境美化週間を月に1週間程度設定し、環境委員会を中心に、給食時間の放送で4Rについて説明したり、節電、節水と呼びかけたりした。



- ② PBC (peace became children) というペットボトル回収活動を継続しており、発展途上国でのワクチン購入のために回収を行っている。



- ③ 環境についての標語を全校生徒に募集し、生徒会を中心に審査を行った。3名の生徒の作品を校内に掲示した。



## (2) 学年の取組

### ○ 第1学年

宮崎市から配付されている資料を第1学年に配付し、4R活動について学習した。

また、総合的な学習の時間のキャリア教育とのかかわりの中で、田野地域や宮崎市内で活躍されている方々に講話をしていただいた。その中で、企業の環境への取組やリサイクル活動について学習することができた。



### ○ 第3学年

総合的な学習の時間において、SDGsをテーマとした探究学習を実施した。まとめた内容について代表者が文化発表会で発表し、全校生徒で理解を深めた。



## (3) 全体としての取組

① 全校生徒対象に Think of Others 難波裕扶子氏を講師に招き、SDGsについての考え方について学習した。SDGsについての基本的な話から、今後の取組についてお話しいただいた。



② 美術科と連携をし、環境に関するポスターを募集した。校内審査を行い、優秀作品については校内に掲示をした。



③ 年度初めに、自分の机や椅子の状況を確認し、大切に使用するための記録用紙「机カルテ」を実施している。年度初めの机の傷の状態を記入し、学年末に再度確認するものである。一人一人が普段から物を大切に使うことを意識することができている。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

普段から取り組んでいる内容をさらに丁寧環境と結び付けながら生徒会の生徒を中心とした活動にすることができた。

地域の方々のお話を聞くことができ、持続可能な地域のあり方や地域に貢献することの大切さについて考えることができた。

### (2) 課題

学校全体で継続して進めることができる環境教育として、年間計画に位置付けることが今後必要である。

学校名：宮崎市立田野中学校
住所：宮崎市田野町甲2826番地3
電話番号：0985-86-1200
E-mail：tano-c@mcnet.ed.jp